

# 石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>石巻専修大学  
広報係  
☎986-8580  
宮城県石巻市  
南境新水戸1番地  
☎0225-22-7717(直)本 年 4 月、  
創 立 3 0 年 を  
迎 え ま し た

## 網地島紹介 サイト作成

### 観光客の誘致目指す

経営学部・益満環ゼミでは学生の視点で、石巻市牡鹿半島沖にある網地島に観光客を呼び込むため、情報通信技術はどのくらいあるべきかを研究・考察している。4年次生は昨年、石巻市のウェブサイト「イト」(<https://itotou-miyagi.jp/>)の作成に取

### 経営・益満ゼミ

インスタ映えする場所を探索する  
2年次生＝6月9日

経営学部の杉田博ゼミが商品化に協力した揚げかまぼこ「こめぼこ」第2弾が7月7、8の2日間、プロ野球の楽天イー

### こめぼこ 第2弾

### 楽天公式戦で完売

グルス軍公式戦が行われた楽天生命パーク宮城(仙台市)で販売され、計1200パックを完売した。

こめぼこは石巻北高校の生徒が収穫したひとめぼれを米粉にし、宮城県水産高校の生徒が魚のすり身に練り込んで誕生させたオリジナルの揚げかまぼこ。高大産連携プロジェクトとして、昨年から楽天野球団と連携協定

「多くの方に商品を知ってもらえることができた。たくさんの方に声を掛けてもらい、先輩たちが昨年から積み重ねてきたことが結実していることを実感した」。日野将秀さん(経営2・宮城県田尻さくら高)は「完売できた。試合前には球場内のオーロラビジョンでPRを行った。三浦雅章さん(経営2・岩手県水沢工高)は「

### 経営・舛井ゼミ

## 石巻の魅力伝える ラジオ番組を制作

経営学部・藤優輔さん(宮城県佐沼高)の3人。今年度は「コンテンツ開発による地域情報の発信と地域活性化」をテーマに3回の放送を担当する。

5月25日、石巻駅近くの立町商店街にあるこけし工房「Tree Tree Ishinomaki」を取材。店主の林貴俊さんに話を聞くとともに、新たな名産品として売り出し中の石巻こけしの絵付けを行った。高校の文化祭で動画制



林さん(中央)へのインタビューを収録するゼミ生

経営学部・舛井道晴ゼミは昨年「Date fm」(エフエム仙台)のラジオ番組「Hope for MIYAGI」(毎週月曜日12時～12時25分)の制作を手がけている。取材、編集に携わったのは同ゼミの「メディアコン

テンツ制作プロジェクト」に所属する2年次生の渡辺満帆さん(岩手県大東高)、木村真陸さん(山形県山形工高)、佐

作をしたことからメディアアコンテンツに興味をもったという佐藤さんは「石巻こけしにける店主の情熱にひかれました。これからさまざまな企業と連携し作品を作っていく」と意欲的だ。指導にあたっている舛井准教授は「限られた時間と情報の中でリスナーの心に響くことは何かを考え、発信する感性が大切だ」と話す。



笑顔で販売するゼミ生たち＝7月7日

### 食環境学実習 干潟の生態調査



人工干潟で生物を調査する藤本さん(左)

理工学部食環境学科の「食環境学実習Ⅰ」の野1年次生を対象とした「外実習が6月16日、石巻

市の万石浦で行われた。参加した約20人は、玉置仁教授の指導を受けながら、東日本大震災の被害を受けたかつて干潟だった場所と、震災後に造成された人工干潟の生物相と環境の違いを観察。2カ所を比較し、アサリをはじめとした生物の生育環境について理解を深めるとともに、環境保全の重要性を学んだ。

加藤清楓さん(岩手県金ケ崎高)は「人工干潟でアサリなどの生物がたかった」と話した。

## 都合により 掲載いたしません

### 「開放講座」を開催

「みやぎ県民大学 石巻専修大学開放講座」が6月28日から本学で開講されている(7月19日まで、全4回)。今年度は「あなたの知らないシカ・クマの世界」をテーマ

に土屋剛理工学部客員教授が講演。地域の方々や学生が聴講し、シカとクマの生態を通して、人と野生動物の共生について学んでいる。

土屋客員教授の研究分野は動物比較形態学。近年は、牡鹿半島でニホンシカの生息数などを調査してきた。初回と第2回(7月5日)はシカを取り上げ、フィールドワークで得られたデータを基に生息数の増加を指摘。増えすぎたシカが生活環境や自然環境に与える影響を解説した。